

学校紹介  
新聞

# 茨城県立 常陸太田特別支援学校



◆校長 齋藤 正  
◆児童生徒数 198人  
◆創立 2015年  
◆住所 常陸太田市瑞龍町  
1032番地の1



くじら焼きを体験する様子

学び  
一貫教育



## 本物に触れる仕事体験



常陸太田特別支援学校のキャリア教育の特色として、小学部から12年間連続した「本物に触れる学び」があります。小学部では、褒められる、認められる経験を重ねるために「お仕事体験」を実施し、地域の事業所にご協力いただきながら、年間4回、各事業所の仕事を体験しています。

5年生は、鯨ヶ丘商店街の「くじら屋」で、くじら焼きを焼く仕事に取り組みました。一つ焼きあがると、店長さんとハイタッチをして、できた喜びを分かち合いました。子どもたちから「ここで働きたい」「もっとやりたいな」などの声が聞かれました。地域の方とかかわり合いながら、夢や希望、憧れをもち、自立と社会参加への基盤形成を目指し、中学部の「職場体験」、高等部の「インターンシップ」へつなげていきます。

(教諭 和知重子)

こんな学校です！



ブドウの観察をする様子

## 地域と密接に連携し学習



ずいまる

常陸太田特別支援学校は、創立9年目を迎えた知的に障害のある児童生徒が通う学校です。小学部86人、中学部47人、高等部65人の198人の児童生徒が、スクールバスや一般交通機関等を利用して通っています。校庭は、地域の方から愛されている「瑞桜」をはじめとする多くの桜に囲まれる、自然豊かな学校です。

児童生徒が自分の力を最大限に発揮し笑顔で生活できる

よう、地域に根ざした教育と個に応じた指導により、自立と社会参加を目指して一人一人の「生きる力」を育てることを目標としています。

市内の事業所や商店街、地場産業などを活用し、地域の方々に社会人講師になっていただくなど、地域との密接な連携を図りながら学習に取り組んでいます。

昨年度に常陸太田特別支援学校のキャラクター「ずいまる(桜の妖精)」と、ずいまるの仲間が誕生しました。かわいい姿で児童生徒に人気です。



ブドウを収穫する様子

地域との交流

## 企業とブドウ共同栽培



2019年度から地域企業と共同栽培しているブドウ畑「あした」でワイン用ブドウの栽培に取り組んでいます。観察、除草、袋掛け、収穫、そしてワイン仕込み体験に児童生徒が携わっています。袋掛けにはPTAも携わり、8月上旬の暑中、親子で汗を流しながら一房ずつ丁寧に袋掛けしました。

収穫では担当学年の児童生徒が色づいたブドウを一房ずつ優しく収穫し、翌日には高等部3年生が地域企業に赴き、ブドウの粒をたらいの中にほぐして入れ、足踏みしておいしいワインになるように仕込みます。

ワインのほかにブドウジュースにも加工し、できあがったジュースは、児童生徒のもとへ。ワインは高等部3年生の保護者に記念品として贈呈されます。地域の特産物の栽培に携わり、地域と共に育つことができるプロジェクトです。

(教諭 富岡志穂)



読書タイムの様子

全校で週1回読書活動



常陸太田特別支援学校では開校以来、全校で週1時間、国語科の時間に図書室を活用した読書活動を行っています。小学部では「みんなで読書」、中学部・高等部では「読書タイム」と呼ばれ、児童生徒の発達段階や生活年齢に合わせ、主に「一人読み」や「(教師や外部講師による)読み聞かせ」などの活動を展開しています。

また、年に数回、高等部生徒が小学部児童に向けて読み聞かせを行っています。小学部児童が興味をもって聞くことができるよう、読み聞かせの前に手遊びやダンスを取り入れたり、本を読むときには相手を意識した話し方の工夫をしたり、「相手に伝えたい」という思いを大切に、高等部生徒同士で話し合いや練習を重ねて行っています。一方、聞く側の児童は、友達やお兄さん、お姉さんによる読み聞かせということで、親しみをもって聞いています。

(教諭 赤津友香)

次回は9月6日 県立日立一高・付属中学校です

## より便利に! 茨城新聞電子版 リニューアル

テキストの記事  
100~200本掲載  
※リニューアル前は約20本

キーワード検索  
機能付き

紙面の切り取り  
お気に入りの部分を  
画像データで保存

約1カ月分の紙面全てが見られる ※リニューアル前は3日分 ※ページ数により異なる

茨城新聞電子版とは?

スマートフォンのアプリで、いつでもどこでも茨城新聞が読めるサービスです。利用は、アプリをインストールするだけ。紙の新聞が溜まり続けるということもありません。スマホひとつで地元茨城の、そして世界のニュースが一目瞭然。ぜひご利用ください。

初月無料※申し込み月の退会不可

電子版でできること

- リアルタイムで速報記事を配信
- 独自記事など電子版ならではのコンテンツ
- 紙面に掲載されていない写真も配信
- 紙面や画像の拡大
- クリッピング機能

※クリッピング機能とはお気に入りの記事を保存しておくサービスです。写真は保存できません。(テキストのみ)

記事をカテゴライズ、見たい情報はスワイプで

忙しいビジネスマンなら、「主要ニュース」で

ジャンルや地域で記事検索!

出張先でも茨城新聞が読める

※一部の記事、画像、広告は著作権や肖像権などの理由で掲載できないことがあります。

毎月の料金	紙面閲覧	お支払い方法
3,500円(税込)	○	アプリ内課金、クレジットカード amazon pay

ご利用方法

- App Store もしくは Playストアで「茨城新聞電子版」と検索!
- アプリをインストール
- 会員登録後、すぐにご覧になれます!

※iPhone、iPad、Android端末に対応。お使いの機種によっては、ご利用頂けない場合がございます。

※現在購読されている方の契約は継続されます。各アプリストアで茨城新聞電子版アプリを更新してください。AppleとAppleのロゴは、Apple Inc.の商標です。Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

詳しくはこちら

【お問い合わせ】 茨城新聞社 DX推進本部DX推進局 ☎029-239-3028(平日10:00~18:00) メール webmaster@ibaraki-np.co.jp